



希望の広場

二本松市立小浜小学校

学校だより

第6号

2021.6.22

遠足（1～4年）、たいへん充実していました。



先週、16日水曜日、第1～4学年が楽しく遠足に行ってきました。

この遠足では、コロナ禍に対応し、感染症予防対策を徹底するため、なるべく短距離の移動で済み、しかも、教育的に意義ある活動が期待でき、さらに、子どもたちが存分に楽しむことができる場所として「安達ヶ原ふるさと村」を選定しました。

子どもたちは、トランポリンやクライミングウォール等の遊びに大喜びの様子で、日常学校では、体験できない活動を仲間と共に楽しんでいました。帰校後に「先生、わたし（ぼく）のつくった万華鏡見てください。」とたくさんの小浜っ子に声をかけられました。満足感にあふれた表情から、活動の充実ぶりが感じられました。

保護者の皆様には、各学年一台のバス配車による経費のご負担等にご理解いただくとともに、お子さんの準備等、たいへんお世話になりました。

小浜っ子にとって、思い出に残る意義深い遠足となりました。

防犯教室で、自分の命を守るための取組を学びました。

遠足の前日、6月15日火曜日に、防犯教室を実施しました。講師は、二本松警察署・生活安全課の方、小浜駐在所の佐藤様にお務めいただき、3校時に1～3年、4校時に4～6年に分かれて実施しました。

昨年度は、この防犯教室を実施した直後、市内で声かけ事案が多発しました。「いかのおすし」はもちろん、自分の身を守るための実践的な活動を実施しましたので、ご家庭でも一声かけていただければ、と思います。また、防犯ブザーが鳴るかどうかの定期的な確認も、どうぞよろしく願います。



保護者の皆様へのお願い

- 梅雨になり、天候急変や熱中症等に留意する季節がやってきました。
子どもたちには、不審者対策同様に、登下校の際にも、自分の命は自分で守る意識をしっかりと持って生活してほしいと思っています。そこで、登下校の際の帽子の着用、置き傘や折りたたみ傘の持参等は、確実に行ってほしいと思います。ご家庭で確認いただくとともに、子どもたちに「自分の命を守ることだから、自分で用意しよう」という意識が育まれることを願っています。
- 子どもたちが、傘を忘れた際に貸し出している学校据え置き傘が多数戻ってきません。自宅等に置いたままのご家庭はないでしょうか。各家庭で確認いただくとともに、子どもたちにもお声がけいただき、「借りた物は必ず返す」という社会のルールを教えるよい機会としていただきたいと思います。